“たいせつ”がギュッと。
阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.
〒553-8553
大阪市福島区海老江1丁目1番24号
http://www.hanshin.co.jp/

NEWS RELEASE　経営企画室（広報担当）

２０２１月７月５日

阪神甲子園球場

～　さらに環境にやさしい球場をめざして　～

２０２２年春、阪神甲子園球場のスタジアム照明をＬＥＤ化します

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：秦雅夫）が運営する阪神甲子園球場では、２０２１年シーズンオフに、スタジアム照明をＬＥＤ化します。

※写真はイメージです

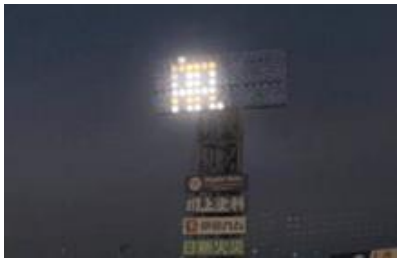
これは、阪急阪神ホールディングス株式会社が、昨年５月１９日に公表した「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言（※１）」において定めた６つの重要テーマのうち、「環境保全の推進」について、阪神甲子園球場が、従来の取組み（※２）に加え、新たにスタジアム照明を従来のＨＩＤ照明からＬＥＤ照明へ切り替えることで、CO_2排出量を約６０％抑制し、エネルギー効率の改善に取り組むものです。

今回のスタジアム照明切替工事は、既存のＨＩＤ照明器具をＬＥＤ照明器具に置き換えるもので、設置場所、照射対象エリア、使用時の外観を考慮して複数タイプの器具を使用し、当球場において伝統的に用いてきた「カクテル光線」を踏襲する仕様としています。また、ＤＭＸによる制御が可能な調光システムを採用し、これまでのＨＩＤ照明器具では実現できなかった瞬時点滅や文字・図柄の描写等による光の演出を、スタジアム内のメインビジョン映像や音響と連動させることで、より幅のあるファンサービスを実現します。

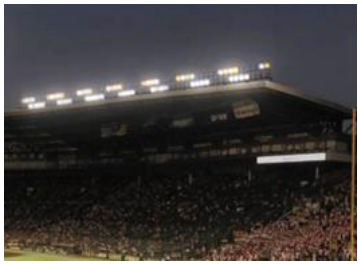
【照明演出 例】

※写真はイメージです

＜縦縞模様＞



＜ＴＨマーク＞



＜格子模様＞

阪神甲子園球場は、CO_2削減をはじめとする環境負荷を低減する取組みを通じて、これからも積極的に社会に貢献していきます。

詳細は次のとおりです。

１．ＬＥＤ照明切替工事の概要

（１）照明器具台数７５６台（白色５４８台・橙色２０８台）　※総台数の変更なし

（２）ＤＭＸによる照明演出制御の採用

（３）４Ｋ・８Ｋテレビ放送規格への対応

いずれもパナソニック株式会社製品を採用

２．工事期間　２０２１年１１月～２０２２年２月下旬（予定）

【切替後のＬＥＤ投光器】　※写真はイメージです

※1「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」

持続可能な社会の実現に向け、阪急阪神ホールディングスグループの今後の取組みの方向性を示すものとして、２０２０年５月１９日に公表。サステナブル経営の重要テーマとして、①安全・安心の追求、②豊かなまちづくり、③未来へつながる暮らしの提案、④一人ひとりの活躍、⑤環境保全の推進、⑥ガバナンスの充実を設定。

※2「環境保全の推進」に関する阪神甲子園球場の取組み

２００７年～２００９年に実施したリニューアル工事の際に「環境への配慮」を掲げ、銀傘（球場の大屋根）への太陽光発電の設置、雨水・井水の利用等に取り組む。

加えて、廃棄物発生の抑止及びリサイクルの推進のため、２０１２年からプラスチックカップのリサイクルに取り組むほか、２０２０年からは球場内で販売する容器・包材のプラスチック製品から紙をはじめとするバイオマス製品への変更に着手している。

以　上